

機能要件一覧	システム名称	※「区分」の欄に各機能の実現可否を記号で記入すること。 パッケージに標準装備されている機能は「○」、軽微なカスタマイズで実現できる機能(無償)は「◇」、大規模なカスタマイズが必要な機能(有償)は「△」、どのような手段を用いても実現ができない機能については、「×」を区分の欄に明記すること。
	名簿管理システム	

凡例 【区分】 ○：標準機能で実現可 ◇：軽微なカスタマイズ(無償)で実現可 △：大規模なカスタマイズ(有償)が必要 ×：対応不可

項番	大分類	中分類	機能名称	機能要件	区分	備考	
1	外部連携	住基異動データ連携	住基異動データ連携	住基上の異動データを名簿管理システムに取り込み、異動状況を管理できること。 取り込み処理におけるエラーを通知し、エラーログにより内容を確認できること。			
2			異動更新履歴管理	住基異動データを名簿管理システムに取り込んだ日ごと及び異動事由単位で該当者を確認でき、該当者の異動履歴を表示できること。			
3			名簿データ突合処理	住基システムから名簿管理システムに受け渡した住基データが、住基システム上のデータと相違がないかをマッチングできること。 マッチング項目は以下の2通りで実施できること。 ・住民番号のみ ・住民番号、氏名、性別、生年月日、住所、方書、世帯番号、続柄、異動事由、異動日			
4		投票管理システム連携	選挙時登録データ連携	名簿管理システムで作成した選挙時登録データから、投票管理システムへ受け渡すデータを作成できること。			
5			選挙時異動データ連携	名簿管理システムで選挙時登録処理を行った以降、当該名簿に登録されている者の異動情報について、投票管理システムへ受け渡すデータを作成できること。			
6			投票状況入力	投票管理システム側で処理を行った投票状況や、投票用紙の請求・交付・受理の状況などを、名簿管理システムで取り込むことができること。			
7	選挙資格管理	選挙人名簿情報補正	選挙人名簿情報登録	住基異動データ連携とは別に、選挙人情報を名簿管理システムへ登録できること（連携に先行して帰化者を登録、或いは補正登録する必要がある者を登録する）。			
8			選挙人名簿情報訂正	個人情報などの誤りが判明した者について、住基側でデータ修正できない場合、名簿管理システムで修正できること。			
9			選挙人名簿情報抹消	名簿管理システムに登録された者のうち、誤載などの理由で管理する必要のなくなった者を抹消できること。			
10	選挙人名簿の登録	選挙人名簿登録	名簿調製	定時登録名簿の調製時は、画面上から登録基準日、名簿調製日をセットして、実行ボタンを押すだけで調製処理が完了できること。			
11				選挙時登録名簿の調製時は、画面上から選挙名称、登録基準日、名簿調製日、投票日をセットして、実行ボタンを押すだけで調製処理が完了できること。			
12				名簿調製では公職選挙法（以下「公選法」という）に基づき、適正に登録、抹消ができること。また、転出取消や再転入、職権消滅といった異動も正しく判定できること。			
13			名簿抹消	公選法に基づき、適正に名簿抹消できること。			
14			名簿の表示	公選法に基づき、適正に表示ができること。			
15			名簿の表示の消除	公選法に基づき、適正に表示の消除ができること。			
16			投票区移し替え機能	市区町村内の住所移転により、選挙人個別に投票区の移し替えに対応していること。			
17			登録基準日管理	定時名簿登録時、選挙時名簿登録処理時に登録基準日・選挙執行日の入力・変更ができること。			
18			複数登録日の名簿登録	複数の選挙が同日に執行される場合、執行される選挙ごとに登録基準日を設定して名簿を登録できること。最大7つまでの選挙を設定できること。			
19			投票区割当不可者の把握	名簿登録処理前に投票区割当不可者を把握することが可能であること。			
20			同一人物該当候補者の把握	名簿登録処理前に住民番号が異なる同一人物と思われる者を把握することが可能であること。			
21			選挙人登録一覧	新規登録者一覧の作成	新規に登録した選挙人の一覧を作成できること。		
22			選挙人抹消一覧	抹消者一覧の作成	抹消した選挙人の一覧を作成できること。		
23			選挙人名簿抄本	選挙人名簿抄本の作成	選挙人名簿抄本の作成	選挙人名簿抄本を作成できること。	
24	表示者内容	表示者である旨、確認できること。					
25	抹消者内容	抹消者について、抹消線を引くことができること。					
26	投票状況	期日前・不在者投票管理システムから連携することで、選挙期間中の期日前・不在者投票状況を記載できること。					
27	異動状況	取り込み済みの住基異動情報から、選挙期間中の住基異動状況を記載できること。					
28	DV表示	DV該当者について、閲覧用の選挙人名簿抄本で非表示の設定ができること。 その場合は該当行を[空白行にする]、[氏名欄に「該当者なし」を表示]、[行詰め]のボタンから選択できること。					
29	失権者表示	失権者について、選挙人名簿抄本で非表示の設定ができること。 その場合は該当行を[空白行にする]、[氏名欄に「該当者なし」を表示]、[行詰め]のボタンから選択できること。					
30	印刷機能	庁内に設置するプリンターへ印刷することができること。また外部の委託業者による印刷の場合は、選挙人名簿抄本のPDFイメージファイルを提供できること。					
31	印刷出力順	名簿番号順又はカナ氏名五十音順での出力ができること。					

32	統計資料	投票区別、年齢別登録者数集計	投票区別、年齢別登録者数の集計ができること。		
33		町丁別登録者数集計	町丁別登録者数の集計ができること。		
34		投票区別、年齢別有権者数集計	投票区別、年齢別有権者数の集計ができること。		
35	二重登録	二重登録者の抽出、表示 □他市区町村の名簿に登録された者	基準日の4ヶ月前～3ヶ月前の間に転出した二重登録となりうる者の抽出ができること。		
36			名簿調整後に別途処理することなく、二重登録者画面へ展開するだけで対象者が表示されること。		
37			二重登録者画面では全ての転出者と、都内転出者の表示の切り替えがボタン一つでできること。		
38			二重登録者画面ではカナ氏名、生年月日、転出日、転出先で表示のソートができること。		
39		二重登録者の通知 □他市区町村の名簿に登録された者	照会・回答通知・宛名タグシールの出力ができること。照会通知には、氏名、性別、生年月日、転出年月日、転出先住所が出力できること。宛名タグシールは、対象となる選挙人の自治体が自動で抽出でき、窓空き封筒に対応したレイアウトで出力できること。		
40		二重登録者の管理、入力 □他市区町村の名簿に登録された者	他市で登録された者を二重登録者として入力できること。また、同一市区町村の者は一括で二重登録できること。		
41		二重登録者の抽出、表示 ■市区長村の名簿に登録した者	基準日の4ヶ月以後に入力した登録者の抽出ができること。 また、基準日の4ヶ月前以後、基準日の4ヶ月前+1日以後、基準日の4ヶ月前+2日以後、基準日の4ヶ月前+3日以後の設定で抽出できること。		
42			名簿調整後に別途処理することなく、名簿登録通知画面へ展開するだけで対象者が表示されること。		
43			名簿登録通知画面では全ての転出者と、都内転出者の表示の切り替えがボタン一つでできること。		
44			名簿登録通知画面ではカナ氏名、生年月日、転出日、転出先で表示のソートができること。		
45	二重登録者の通知 ■市区長村の名簿に登録した者	登録通知・宛名タグシールの出力ができること。登録通知には、登録日、氏名、性別、生年月日、転入届出日、自市区町村の住所、相手先市区町村の住所が出力できること。宛名タグシールは、対象となる選挙人の自治体が自動で抽出でき、窓空き封筒に対応したレイアウトで出力できること。			
46	投票所入場整理券 ※以下「入場券」	入場券ファイルの出力	外部の委託業者による印刷のために、住民、転出者、再転入者ごとに分けてCSVファイルを出力し提供できること。※印刷内容、レイアウトについては印刷業者へ指示。		
47		失権者情報との連携	失権者情報と連携して、入場券出力対象外として扱うことができること。		
48		入場券の印刷 (市内プリンター印刷の場合)	入場券を住民、転出者ごとに分けて印刷することができること。また個人形式、世帯形式のいずれにも対応できること。		
49		バーコード印刷 (市内プリンター印刷の場合)	名簿番号バーコード、及び郵便バーコードの印刷ができること。		
50		投票所地図印刷 (市内プリンター印刷の場合)	投票所地図データを取り込み、投票所入場券に印刷することができること。		
51		宛名印刷項目 (市内プリンター印刷の場合)	郵便番号、住所、氏名、名簿番号バーコード、郵便バーコード、入場券連番（転出者除く）、任意文字列を印刷できること。また各項目の印刷の有無を選択できること。任意文字列については職員が編集できること。		
52		入場券印刷項目 (市内プリンター印刷の場合)	名簿番号、投票区番号、投票所名、投票所地図、任意文字列を印刷できること。また各項目の印刷の有無を選択できること。任意文字列については職員が編集できること。		
53		入場券レイアウト (市内プリンター印刷の場合)	入場券に印刷する項目、印刷位置、印刷サイズなどをGUI環境で編集できること。パッケージ機能から印刷する場合は、このメニュー上から、縦幅、横幅、項目の位置の指定が可能であること。		
54		補正登録者への入場券発行 (市内プリンター印刷の場合)	入場券発送以降に補正登録により選挙人名簿に登録された者に対して、入場券を出力することができること。		
55		入場券引き抜き対象者の出力	入場券出力後、引き抜き対象者を出力できること。		
56		入場券不達管理	宛先不明で入場券返戻された者について管理できること。画面上で入場券のバーコードを読み込むことで対象者が検索表示できること。		
57		不現住者管理	入場券が二度不達となった者を不現住者として管理できること。該当者は入場券の出力対象外として扱えること。また、該当者に異動があった場合は画面上で色分けして判別しやすいよう表示できること。画面上で入場券のバーコードを読み込むことで対象者が検索表示できること。		
58		入場券再発行、紛失管理	入場券を再発行することができ、再発行の有無を管理できること。また、入場券を紛失した旨の連絡があった者について管理でき、再発行できること。		
59	名簿更新処理	定時登録名簿に対する抹消	定時登録名簿調整処理以降、月単位など任意に期間を指定して抹消処理ができること。また補正登録となる者、抹消取消しとなる者、転居再割り当てとなる者も処理できること。上記該当者を選挙管理委員会へ諮るための議案作成用に該当者リストを出力できること。		
60			期間の指定は画面上から、いつから、いつまで(○月○日～○月○日)のみセットすることで、取り込み済みの住基異動分のなから対象者を自動で抽出できること。		
61			抽出後、抹消を反映する際は（補正登録、抹消取消し、転居再割り当ても同様）、画面上に表示された対象者一覧から、対象者を一括または個人ごとを選択して処理できること。		
62		選挙時登録名簿に対する抹消	選挙時登録名簿調整処理以降、日々、抹消となる者の抹消処理ができること。また補正登録となる者、抹消取消しとなる者、転居再割り当てとなる者も処理できること。上記該当者を選挙管理委員会へ諮るための議案作成用に該当者リストを出力できること。		
63			期間の指定は画面上から、いつから、いつまで(○月○日～○月○日)のみセットすることで、取り込み済みの住基異動分のなから対象者を自動で抽出できること。		
64			抽出後、抹消を反映する際は（補正登録、抹消取消し、転居再割り当ても同様）、画面上に表示された対象者一覧から、対象者を一括または個人ごとを選択して処理できること。		
65	選挙時登録名簿に対する基準日時点での抹消分の反映	選挙時登録処理以降、登録基準日までの期間中の住基の異動を反映し（死亡や遷り異動による加除を反映）、登録基準日時点での名簿は最新の状態となっていること。			
66	選挙時登録名簿に対する凍結日以降の転居者の扱い	実務上の名簿凍結日以降、転居者については投票区の変更を行わない仕組みをシステム上で備えること。			

67	特定選挙人管理	在外選挙人証 交付管理	在外選挙人証 交付管理	在外選挙人証交付者を管理できること。また有効期限についても管理ができること。		
68			在外選挙人証交付者一覧出力	在外選挙人証交付者の一覧表を出力できること。		
69		郵便等投票証明書 交付管理	郵便等投票証明書 交付者管理	郵便による不在者投票を行える者について、郵便等投票証の交付者の管理ができること。公布日、有効期限のほか、住所とは別に居所も管理できること。		
70				郵便による不在者投票を行える者について、代理記載者を管理できること。		
71				郵便による不在者投票を行える者について、障害内容を管理できること。 ・身体障害者の場合は、以下の項目が選択できること。 障害名 [両下肢、体幹、移動機能、心臓、腎臓、呼吸器、膀胱、直腸、小腸、免疫、肝臓] 障害の程度 [1級、2級、3級] ・戦傷病者の場合は、以下の項目が選択できること。 障害名 [両下肢、体幹、心臓、腎臓、呼吸器、膀胱、直腸、小腸、免疫、肝臓] 障害の程度 [特別項症、第1項症、第2項症、第3項症]		
72			郵便等投票証明書 交付者一覧出力	郵便等投票対象者の一覧表を出力できること。		
73			郵便等投票証明書出力	郵便等投票証明書を出力できること。		
74		選挙人名簿登録証明書 交付管理	選挙人名簿登録証明書 交付者管理	指定港や船舶などから不在者投票を行える者について、選挙人名簿登録証明書の交付者を管理できること。公布日、有効期限を管理できること。		
75			選挙人名簿登録証明書 交付者一覧出力	選挙人名簿登録証明書 交付者の一覧表を出力できること。		
76			選挙人名簿登録証明書 出力	選挙人名簿登録証明書を出力できること。		
77	南極選挙人証 交付管理	南極選挙人証 交付者管理	南極から不在者投票を行える者について、南極選挙人証の交付者を管理できること。公布日、有効期限を管理できること。			
78		南極選挙人証 交付者一覧出力	南極選挙人証 交付者の一覧表を出力できること。			
79		南極選挙人証 出力	南極選挙人証を出力できること。			
80	失権者管理	失権者管理	11条該当者の事由、11条該当登録日、復権予定日を管理できること。			
81			選挙人名簿の登録要件を満たす前に失権者管理に登録した者は、選挙人名簿の登録要件を満たしたあとも登録させない扱いとする設定ができること(名簿非登録設定による制御)。			
82		失権者一覧表示、出力	11条該当者を画面上に一覧表示、また一覧表を出力できること。出力の際は、プリンタ、CSVファイルを選択できること。			
83			11条該当者を画面上に一覧表示する際は、登録日、復権予定日、カナ氏名で表示のソートができること。 転出後4ヶ月を経過している者は登録日欄を黄色表示し、復権予定日を経過している者は復権予定日欄を赤色表示して、確認が必要な者を判別しやすいよう表示できること。			
84		復権管理	新規登録の際、11条復権予定日を名簿管理システムが自動で計算できること。 また、この復権予定日を過ぎても自動で失権情報を削除しないこと、これにより意図せずに復権が行われないよう対応できていること。			
85	失権者異動通知(令1条)出力	失権者が転出確定した際、転出先市区町村へ通知を出力できること。				
86	DV該当者管理	DV該当者管理	DV届け出のあった者を管理することができること。また名簿への記載について、該当者を印字しないなどの対処ができること。			
87		DV該当者一覧出力	DV該当者の一覧表を出力できること。			
88	視覚障害者管理	視覚障害者管理	視覚障害者を管理できること。また有効期限についても管理ができること。			
89		視覚障害者一覧出力	視覚障害者の一覧表を出力できること。			
90	裁判員・検察審査員名簿 抽選管理	裁判員名簿管理	候補者予定者基名簿の調製	裁判員候補者予定者の抽選を行うための基となる名簿を調製できること。 裁判所提供の抽選プログラムで読み込むための候補者予定者データを出力できること。		
91			裁判員名簿抽選処理	調製された基名簿から裁判員候補者予定者を抽選機能により抽出できること。 裁判所提供の抽選プログラムで読み込むための候補者予定者データを出力できること。 ※名簿管理システム、裁判所提供プログラム どちらでも抽選が可能です。		
92			候補者予定者の資格喪失管理	抽選により候補者予定者となった者について、住民情報システムの異動により候補者予定者の資格を有しなくなった者を抽出して出力できること。		
93	検察審査員名簿管理	候補者予定者基名簿の調製	検察審査員候補者予定者の抽選を行うための基となる名簿を調製できること。 裁判所提供の抽選プログラムで読み込むための候補者予定者データを出力できること。			
94			裁判員名簿抽選処理	調製された基名簿から検察審査候補者予定者を抽選機能により抽出できること。 裁判所提供の抽選プログラムで読み込むための候補者予定者データを出力できること。 ※名簿管理システム、裁判所提供プログラム どちらでも抽選が可能です。		
95			候補者予定者の資格喪失管理	抽選により候補者予定者となった者について、住民情報システムの異動により候補者予定者の資格を有しなくなった者を抽出して出力できること。		
96	国民投票の名簿登録	投票人名簿登録	投票人名簿の調製	投票人名簿の調製時は、画面上から選挙名称、発議事案、登録基準日、名簿調製日、投票日をセットして、実行ボタンを押すだけで調製処理が完了できること。		
97			投票人名簿（1号）資格者登録	投票人名簿（1号）資格者の投票人名簿の登録処理ができること。 住民基本台帳情報に基づき、登録基準日に住民基本台帳に登録されている者から投票人名簿（1号）資格者が抽出され、投票人名簿へ登録できること。		
98			投票人名簿（1号）資格者登録通知	投票人名簿（1号）資格者の転入元市区町村へ、投票人名簿登録の通知を出力できること。		
99			投票人名簿（2号）資格候補者抽出	住民基本台帳情報に基づき、登録基準日の翌日から14日以内に住民基本台帳に登録された投票人名簿（2号）資格候補者について、取り込み済みの住基異動から日々自動で抽出し、画面上から対象者を確認できること。		

100		投票人名簿(2号)資格候補者 前住所地 照会・回答通知	抽出された投票人名簿(2号)資格候補者について、転入元市区町村へ投票人名簿(2号)の被登録資格に係る住民基本台帳の登録有無を照会通知及び回答通知を出力できること。		
101		投票人名簿(2号)資格候補者 前住所地 照会・回答通知 回答結果管理	転入元市区町村から回答された、投票人名簿(2号)の被登録資格に係る住民基本台帳の登録有無について管理できること。		
102		投票人名簿(2号)資格候補者 (転入元市区町村未登録者) 本籍地 照会・回答通知	転入元市区町村からの回答の結果、住民基本台帳の登録無しとして管理された者について画面上へ自動で抽出され、本籍地へ投票人名簿(2号)の被登録資格に係る住民基本台帳の登録有無を照会通知及び回答通知を出力できること。		
103		投票人名簿(2号)資格候補者 (国外転入者) 本籍地 照会・回答通知	住民基本台帳情報に基づき、登録基準日の翌日から14日以内に、国外転入により住民基本台帳に登録された投票人名簿(2号)資格候補者について、取り込み済みの住居異動から日々自動で抽出し、画面上から確認できること。また、本籍地へ投票人名簿(2号)の被登録資格に係る住民基本台帳の登録有無を照会通知及び回答通知を出力できること。		
104		投票人名簿(2号)資格者 本籍地 照会・回答通知 回答結果管理	本籍地から回答された、投票人名簿(2号)の被登録資格に係る住民基本台帳の登録有無について管理できること。		
105		投票人名簿(2号)資格者登録	本籍地での登録無しとして管理された者について、画面上で自動で抽出され、投票人名簿へ登録することができること。		
106		死亡等の通知	投票人名簿未登録者のうち、基準日以降に死亡、国籍喪失、失権となる者を自動で抽出し、転入元の市区町村に対し、投票権を有しなくなるべき事由が発生した旨の通知が出力できること。		
107		投票人資格	投票人資格情報の登録・修正・抹消・照会ができること。住民基本台帳情報に基づき、投票人資格情報の登録管理ができること。		
108	投票人名簿抄本	投票人名簿抄本の作成	投票人名簿抄本を作成できること。		
109	投票所入場整理券 ※以下「入場券」	入場券ファイルの出力	外部の委託業者による印刷のために、CSVファイルを出力し提供できること。※印刷内容、レイアウトについては印刷業者へ指示。		
110		入場券の印刷 (市内プリンター印刷の場合)	入場券を住民、転出者ごとに分けて印刷することができること。また個人形式、世帯形式のいずれにも対応できること。		
111		バーコード印刷 (市内プリンター印刷の場合)	名簿番号バーコード、及び郵便バーコードの印刷ができること。		
112		投票所地図印刷 (市内プリンター印刷の場合)	投票所地図データを取り込み、投票所入場券に印刷することができること。		
113		宛名印刷項目 (市内プリンター印刷の場合)	郵便番号、住所、氏名、名簿番号バーコード、郵便バーコード、入場券連番(転出者除く)、任意文字列を印刷できること。また各項目の印刷の有無を選択できること。任意文字列については職員が編集できること。		
114		入場券印刷項目 (市内プリンター印刷の場合)	名簿番号、投票区番号、投票所名、投票所地図、任意文字列を印刷できること。また各項目の印刷の有無を選択できること。任意文字列については職員が編集できること。		
115		入場券レイアウト (市内プリンター印刷の場合)	入場券に印刷する項目、印刷位置、印刷サイズなどをGUI環境で編集できること。パッケージ機能から印刷する場合は、このメニュー上から、縦幅、横幅、項目の位置の指定が可能であること。		
116		補正登録者への入場券発行 (市内プリンター印刷の場合)	入場券発送以降に補正登録により投票人名簿に登録された者に対して、入場券を出力することができること。		
117		入場券引き抜き対象者の出力	入場券出力後、引き抜き対象者を出力できること。		
118		入場券不達管理	宛先不明で入場券返戻された者について管理できること。		
119		入場券再発行、紛失管理	入場券を再発行することができ、再発行の有無を管理できること。また、入場券を紛失した旨の連絡があった者について管理でき、再発行できること。		
120	統計資料	投票区別、年齢別登録者数集計	投票区別、年齢別登録者数の集計ができること。		
121		町丁別登録者数集計	町丁別登録者数の集計ができること。		
122	住民投票の名簿登録	住民投票名簿登録	住民投票の名簿登録にあたっては、執行する選挙、登録基準日、名簿登録日、選挙投票日のみを入力することで、当該選挙名簿への登録・抹消要件を判定し、名簿を調整できること。 登録者を対象に、当日用名簿抄本を出力できること。投票日までの異動及び期日前・不在者投票情報を記載した当日用名簿抄本を出力できること。またDV、失権者の非表示設定が可能であること。		
123			住民投票の名簿登録要件として、以下の条件を設定できること。 ・年齢要件[投票日現在 又は 基準日現在]、[〇〇]歳以上(12歳〜20歳まで1歳刻み) ・転入後3ヶ月登録要件の適用有無 ・在外選挙人名簿登録者の登録有無 ・欠格者の登録有無		
124	投票区割り当て	選挙区割り設定	選挙区の設定について、オンラインから容易に対応できること。また、選挙区改定のあった場合も同様に対応できること。		
125		投票区割り設定	投票区の設定について、オンラインから容易に対応できること。また、町名地番変更のあった場合も同様に対応できること。		
126		簿冊情報	簿冊の設定について、オンラインから容易に対応できること。また、変更を行う場合も同様に対応できること。		
127		抄本番号の管理	抄本番号は [投票区 - (簿冊番号) ページ番号 - 行番号] で付番され、管理できること。		
128		投票区選挙人固定割当	選挙人を個別に、指定した投票区へ強制的に登録する機能を有すること。登録の際、同一世帯員も同時に割り当てることができること。		
129		投票区整合性チェック	投票区設定変更後、名簿管理システム内に存在する者が、いずれかの投票区に割り当てられているかをチェックする機能を有すること。		
130	検索管理関連	個人検索	該当者検索時の検索キーとして以下の項目が有効であること。 また複数項目指定して複合検索ができること。 ・カタ氏名・漢字氏名・性別・生年月日(範囲指定可)・住民番号 ・世帯番号・投票区・ページ番号・住所(町域)		
131		部分一致検索	氏名の名のみで検索できること。 (例えば、「スズキ タロウ」の場合に「スズキ」や「タロウ」のみで検索できること。)		
132		清音検索	清音で検索できること。 (例えば、「スズキ」の場合に「スズキ」で検索できること。)		

133			検索条件	以下の条件で検索できること。 <ul style="list-style-type: none"> - 指定日付時点での年齢、年齢以上、年齢以下 の者 - 清音検索 - 名のみ検索 - 取り込みした住基異動の異動事由、異動日、更新処理日 - メモ記載者・転出表示者・名簿抹消者・新規名簿登録者・転出後表示登録者 - 特定選挙人(在外、郵便身障者・介護、船員、南極、11条、DV、視覚障害) - 同一世帯員を表示 ※検索結果1件のとき 		
134	EUC	CSVデータ出力	CSVデータ出力	任意に指定した項目をCSV形式でデータ出力できること。		
135			出力文字コード	Unicode/ShiftJISのいずれの形式でも出力できること。		
136			暗号化	出力時に暗号化の有無を選択できること。出力項目に「氏名」「住所」が含まれる場合は強制的に暗号化されること。		
137	利用者管理	ID管理	ユーザー管理	システムの利用にあたってはICカード、ID及びパスワードの二要素認証とする。ID及びパスワードはシステム管理担当者が任意に設定できること。		
138			ポリシー設定	最低桁数などのポリシーを満たしたパスワードの自動生成が可能なこと。		
139			アクセス権限	アクセス権限、及び操作権限に職域による階層を設け、メニュー機能別に利用権限が可能であること。		
140			ログ管理	IDをキーとして、利用日時、利用端末、操作内容など、必要なログを記録し、照会できること。		

機能要件一覧	システム名称	※「区分」の欄に各機能の実現可否を記号で記入すること。 パッケージに標準装備されている機能は「○」、軽微なカスタマイズで実現できる機能(無償)は「△」、大規模なカスタマイズが必要な機能(有償)は「△」、どのような手段を用いても実現できない機能については、「×」を区分の欄に明記すること。
	期日前投票管理システム	

凡例 【区分】 ○：標準機能で実現可 ○：軽微なカスタマイズ(無償)で実現可 △：大規模なカスタマイズ(有償)が必要 ×：対応不可

項番	大分類	中分類	機能名称	機能要件	区分	備考
1	外部連携	名簿管理システムデータ連携	当初データ連携	選挙登録時、名簿管理システムで作成された選挙時登録当初データを取り込み、選挙人名簿を管理できること。		
2			異動データ連携	当初セットアップ時以降、名簿管理システムにて更新している異動情報を取り込み、選挙人名簿を更新できること。		
3			投票情報データ連携	期日前・不在者投票事務終了後、選挙人の異動や投票状況データを名簿管理システム側へ戻し、選挙人の異動や投票状況を反映した名簿を出力できること。		
4		当日投票管理システムデータ連携	投票日前日時点データ連携	期日前投票済みの選挙人名簿情報を、当日投票管理システムへ受け渡すデータを作成できること。		
5			当日投票結果データ連携	当日投票済結果を、当日投票管理システムより取り込むこと。		
6	入場券管理	入場券管理	入場券返戻管理	名簿管理システムにて管理している入場券返戻者データを取り込み、該当の選挙人が投票に来た場合、注意を促すメッセージを表示できること。		
7			入場券再発行、紛失管理	名簿管理システムにて管理している入場券紛失者、再発行者データを取り込み、該当の選挙人が投票に来た場合、注意を促すメッセージを表示できること。		
8	不在者投票	不在者投票共通機能	不在者投票共通機能	不在者投票の対象となる選挙人の請求から投票までを記録し、各状況における統計を出力できること。		
9			投票可否判定の自動化	投票の可否、一定の条件に従って投票可能などは、システムが自動判定できること。		
10			特記事項の注意喚起(機能)	投票不可、一定の条件に従って投票可能な場合、その理由を特記事項としてメッセージを表示できること。「投票不可」のみ等、理由をメッセージ表示できない場合は要件を満たしていないと見なす。 ex)不在者投票の交付者が窓口に来た場合、不在者投票用紙を交付している旨をメッセージ表示し、窓口で投票を受領する場合は不在者投票用紙の返還を受けるよう、操作者に明示できること。		
11			特記事項の注意喚起(画面)	特記事項等を表示するメッセージは表示スペースを画面に常駐させず、該当する選挙人を照合するたびに、特記事項などのメッセージを表示することで、作業時の見落としを防止できる措置が講じられていること。		
12			特記事項の注意喚起(音)	特記事項が表示されるタイミングで注意を促すためのアラーム音が鳴ること。		
13			確認音とアラーム音	正常に処理が完了した際の確認音と、注意を促すアラーム音は別の音とすること。		
14			バーコード読み取り機能	選挙人が持参した入場券に印刷されたバーコードや外封筒のラベルシールに印刷されたバーコードを読み取ることで、容易に名簿照合作業ができること。		
15			選挙人検索機能	入場券がない選挙人でも、カナ氏名、漢字氏名、生年月日、名簿番号、住民番号から選挙人を検索できること。生年月日検索については和暦入力、西暦入力の双方に対応すること。		
16			誤登録者の取り消し	誤って受け付けてしまった選挙人について、無投票状態にできること。		
17			投票事由の初期表示	投票事由の表示について、受付時に初期表示される投票事由を設定できること。		
18			公示日/告示日前に交付処理を実施した場合の交付日制御	公示日/告示日前に交付処理を行った場合、自動で交付日欄に公示日/告示日を自動でセットすること また、公示日/告示日以降は現在の日付を自動でセットすること		
19			仮投票者受付の注意喚起	仮投票者受付を選択した場合、注意喚起メッセージを表示すること		
20			外封筒用ラベルシール出力	外封筒などに貼付するためのバーコードラベルシールを出力できること。		
21			外封筒用ラベルシール出力(自動印刷、手動印刷判別機能)	外封筒などに貼付するためのバーコードラベルシールは、不在者投票の請求・交付処理時点で自動出力される場合と、手処理により任意に出力した場合とで識別できるように、手動出力したシールにはその旨の印を印すこと。		
22	白票返戻管理	交付した不在者投票が白票返戻された場合、請求・交付の履歴を残したまま、白票返戻分として管理できること。白票返戻の入力にあたっては、バーコード読取に対応していること。				
23	白票返戻後の期日前投票受付	白票返戻入力した選挙人が、期日前投票所に来場した場合、不在者投票返戻処理を行うことなく、期日前投票を受け付けできること。				
24	直接投票	18歳未満選挙人の来場投票受付	選挙期日までに年齢要件を満たす者が、投票に来た時点で18歳未満の選挙人については期日前投票ではなく不在者投票として受け付けできること。			
25		再転入復権前の来場投票受付	再転入による復権により選挙期日までに投票要件を満たす者が、復権日前に投票に来た場合(投票実施時点では投票要件を満たしていない場合)は期日前投票ではなく不在者投票として受け付けできること。			
26		官警書出力	官警書を出力できること。官警書には名簿番号バーコードが印字されること。			
27	郵便投票	郵便投票者の投票受付	公職選挙法第49条第2項、同条3項および公職選挙法施行令第59条の2に指定された障害等に該当する選挙人の不在者投票は、通常窓口で行う不在者投票とは別で管理し、事由を記録できること。			
28		郵便証明書交付状況の把握、制御	郵便証明書の交付有無について、把握できるメッセージを表示すること。また、証明書交付がない選挙人については投票用紙交付処理ができない等、選挙人の誤登録防止機能を備えること			
29	船員投票	船員投票者の投票受付	船舶に乗って本邦以外の区域を航海する船員の不在者投票は通常窓口で行う不在者投票とは別で管理し、事由を記録できること。			
30		選挙人名簿登録証明交付状況の把握、制御	選挙人名簿登録証明書の交付有無について、把握できるメッセージを表示すること。また、証明書交付がない選挙人については投票用紙交付処理ができない等、選挙人の誤登録防止機能を備えること			
31	施設投票	施設分類	都道府県の選挙管理委員会で指定する病院などを管理するため、「病院」「老人ホーム」「保護施設」「監獄等」「少年院等」に分類して管理できること。			

32			施設投票用紙交付における注意喚起	指定施設からの請求に対する交付処理を行う際、該当の選挙人が郵便等投票証明書交付者、選挙人名簿登録証明書交付者、兩種選挙人証交付者、失権者である場合はその旨をメッセージ表示すること。		
33			施設投票用紙請求者一括登録	1つの施設から大量の請求があった場合の入力を効率化する為、請求・交付を登録する者について、CSV形式データから一括登録することができること。		
34			白票返戻者把握	施設内の選挙人が白票返戻者か、未投票者が一目で把握することが可能であること。		
35	期日前投票	期日前投票	投票可否判定の自動化	投票の可否、一定の条件に従った投票判断などは、システムが自動判別できること。		
36			特記事項の注意喚起（機能）	投票不可、一定の条件に従って投票可能な場合、その理由を特記事項としてメッセージを表示できること。「投票不可」のみ等、理由をメッセージ表示できない場合は要件を満たしていないと見なす。 ex)期日前投票所に来場した選挙人を照合した際、選挙期日までに満18歳になるが、窓口に来た時点で17歳の選挙人場合、不在者投票にて受付するように操作者に明示できること。		
37			特記事項の注意喚起（画面）	特記事項等を表示するメッセージは表示スペースを画面に常駐させず、該当する選挙人を照合するたびに、特記事項などのメッセージを表示することで、作業時の見落としを防止できる措置が講じられていること。		
38			複数選挙における投票用紙の一部交付	複数選挙において一部の選挙のみ投票用紙を交付できる場合、投票用紙を交付できる選挙名をメッセージに表示すること。		
39			受付時刻の表示	期日前投票受付完了メッセージに受付時刻を表示すること。		
40			事由記録	公職選挙法第48条の2に掲げる事由を記録できること。		
41			投票事由別統計資料への対応	投票事由ごとの統計を投票区別に一覧で出力できること。		
42			直近受付者の確認	期日前投票を受付けた者について、直近受付リスト100名分を表示するボタンを、受付画面に配置すること。リストに表示されている選挙人を選択した際には、当該選挙人が画面上に表示されること。		
43			特記事項の注意喚起（音）	特記事項が表示されるタイミングで注意を促すためのアラーム音が鳴ること。		
44			確認音とアラーム音	正常に処理が完了した際の確認音と、注意を促すアラーム音は別の音とすること。		
45			期日前投票所増減の標準対応	期日前投票所の増減について、システム改修をすることなく対応できること。		
46			バーコード読み取り機能	選挙人が持参した入場券に印刷されたバーコードを読み取ることで、容易に名簿照合作業ができること。		
47			バーコード読み取り機能の制御	名簿番号項目にカールが配置されていない状態でも、入場券バーコードを読み取り、選挙人を検索表示できること。		
48			バーコード情報	バーコード情報には「投票区No」「頁No」「行No」「投票日」及び「市区町村コード」を含むこと。 また、投票日や市区町村コードが一致しない場合、受付を不可とすること。		
49			選挙人検索機能	入場券がない選挙人でも、カナ氏名、漢字氏名、生年月日、名簿番号、住民番号から選挙人を検索できること。 生年月日検索については和暦入力、西暦入力の双方に対応すること。		
50			18歳未満選挙人の不在者投票受付指示	18歳未満の選挙人を判定し、不在者投票で受け付けるように指示できること。		
51			再転入者（投票受付時点で投票要件を満たしていない場合）の不在者投票受付指示	再転入者かつ投票受付時点で投票要件を満たしていない状態の選挙人を判定し、不在者投票で受け付けるように指示できること。		
52			定時登録における新規登録者の自動判定	登録基準日から投票日の間に定時登録を跨ぐ選挙人において、定時登録で新規登録される者は定時登録基準日以前に投票ができないよう制御されること。		
53			受付画面における選挙人の生年月日表示	受付画面に選挙人を表示した際、生年月日については西暦、和暦の双方を表示できること。		
54			誤って表示した選挙人の画面クリア機能	受付画面に誤った選挙人を表示した場合、画面をクリアし、正しい選挙人の表示が行えるようにすること。		
55			誤登録者の投票取り消し機能	誤って受け付けてしまった選挙人について、無投票状態にできること。		
56			誤登録者の投票取り消し機能（制御）	誤って受け付けてしまった選挙人について、期日前投票においては投票が即有効となることから、無投票状態へ戻す作業についてはパスワード入力が必要とするかを、ユーザID単位に設定できること。		
57			不在者投票用紙交付者の白票返戻機能（制御）	不在者投票の返還処理においても、パスワード入力が必要とするかを、ユーザID単位に設定できること。		
58			使用頻度の低い事由選択時の注意喚起	期日前投票受付時、4号事由、5号事由を選択した場合は、当該事由で投票を受け付けて良いか、確認メッセージを表示できること。		
59			仮投票者受付の注意喚起	仮投票者受付を選択した場合、注意喚起メッセージを表示すること		
60			宣誓書出力	宣誓書を出力できること。宣誓書には名簿番号バーコードが印字されること。		
61	住民投票		住民投票管理	名簿管理システムで調製された住民投票用の選挙人データを取り込み、住民投票における投票を管理できること。		
62			投票要件判定（年齢要件）	名簿管理システムにて設定した年齢要件（13歳以上任意）をもとに年齢要件の判定を行うこと。		
63			投票要件判定（住所要件）	名簿管理システムにて設定した公職選挙法における住所要件（登録3ヶ月要件）の判定有無をもとに住所要件を判定すること。		
64	国民投票		国民投票管理	名簿管理システムで調製された投票人名簿データを取り込み、国民投票法に基づいた投票管理ができること。		
65			同時受付可能な発議事案数	発議事案を7つまで管理できること。		
66			投票要件判定（年齢要件）	年齢要件は「18歳以上」と「20歳以上」から選択できること。 ※平成30年6月以降の国民投票については「18歳以上」とすること。		

67		投票要件判定（失権者）	公職選挙法上の選挙とは異なり、失権者も投票権を有するよう判定できること。		
68		投票要件判定（失踪宣告者）	「死亡」「失踪宣告」は別事由として管理できること。		
69	ラベル印刷	性別表記	性別表記を「男」「女」「1」「2」または「表示なし」から選択できること。		
70		投票区情報表記	ラベルシールに印字する投票区情報は、「投票区番号」、「投票所名」、「印字なし」から選択できること。 また、施設投票時のラベルシールは、上記の印字の代わりに施設名称の印字を選択できること。		
71		選挙名表記	交付した選挙名の印字有無を選択できること。		
72	選挙人検索	選挙人検索	基本機能	様々な検索項目により選挙人を抽出できること。	
73			西暦、和暦検索	生年月日検索は西暦、和暦の双方に対応できること。	
74			清音検索	カナ氏名検索については清音検索に対応していること。	
75			漢字氏名検索	漢字氏名からも選挙人を検索できること。	
76			都内転出者（未投票）検索	都政選挙において未投票の都内転出者を検索できること。	
77			転出表示後登録者検索	転出表示後登録者を検索できること。	
78			メモ情報登録者検索	選挙人メモ情報記載者を検索できること。（メモ情報については項82を参照すること）	
79	管理及び保守機能		ID、パスワードによるログイン管理	IDまたはパスワードを用いたシステムログイン管理（利用者認証）ができること。	
80			ID毎の利用機能制御	ID（ユーザ）ごとに、利用できる機能を制限できること。	
81			日時確認、訂正	ログイン時に日時の確認および訂正ができること。	
82			ログ記録、参照、出力	使用記録（ログ）の記録、参照およびCSV出力ができること。	
83			投票情報データ保存、復元	データ保存および復元機能は、バックアップのオンライン画面から実行できること。	
84			同時に受付できる選挙数	同日7票の選挙まで定義および管理できること。	
85			無投票設定	同日に複数選挙が執行されるケースにおいて、一部の選挙が告示日に無投票になった場合は当該選挙に対して無投票設定ができること。	
86	その他	その他機能	メモ情報連携	名簿管理システムにて管理しているメモ情報を取り込み表示できること。記録したメモを受付画面に表示するか否かをメモ単位で制御できること。	
87			テストデータ識別機能	操作研修や事前検証などで使用する選挙データと、本番用の選挙データを間違えて運用しないように、見分けがつく仕組みを有すること。	

機能要件一覧	システム名称
	当日投票管理システム

※「区分」の欄に各機能の実現可否を記号で記入すること。
 パッケージに標準装備されている機能は「○」、軽微なカスタマイズで実現できる機能(無償)は「△」、大規模なカスタマイズが必要な機能(有償)は「△」、どのような手段を用いても実現できない機能については、「×」を区分の欄に明記すること。

凡例 【区分】 ○：標準機能で実現可 ○：軽微なカスタマイズ(無償)で実現可 △：大規模なカスタマイズ(有償)が必要 ×：対応不可

項番	大分類	中分類	機能名称	機能要件	区分	備考	
1	外部連携	期日前投票管理システム連携	投票日前日時点データ連携	期日前不在者投票システムから出力される、投票区ごとの名簿データを管理し、投票日当日の投票を受け付ける事ができること。			
2			当日投票結果データ連携	投票終了後、期日前不在者投票サーバにて時間別投票結果、年代別投票結果、男女別投票結果などを作成するためのデータを作成することができること。			
3	当日投票受付	受付画面表示	画面構成	受付画面には氏名、性別、生年月日、年齢、住所および投票状況を常時表示させること。			
4			特記事項の注意喚起（機能）	投票不可、一定の条件に従って投票可能な場合、その理由を特記事項としてメッセージを表示できること。「投票不可」のみ等、理由をメッセージもしくは画面にて表示できない場合は要件を満たしていないと見なす。 ex)区政選挙時に区外転出者が投票所に来場した等。			
5			特記事項の注意喚起（画面）	特記事項等を表示するメッセージは表示スペースを画面に常駐させず、該当する選挙人を照合するたびに、特記事項、注意メッセージなどを表示させ、見落としを防止できること。			
6			特記事項の注意喚起（音）	特記事項が表示されるタイミングで注意を促すためのアラーム音が鳴ること。			
7			確認音とアラーム音	正常に処理が完了した際の確認音と、注意を促すアラーム音は別の音とすること。			
8			投票数、投票率の表示	定められた時間毎に選挙管理委員会事務局へ報告する男女別投票数および投票率は、受け付け画面を閉じる事無く確認できること。			
9			複数同日投票時の受付可否表示	照会した選挙人について、選挙日当日複数の選挙がある場合に、投票できる選挙が否かを一目で判別できること。			
10			直近受付者の確認	当日受付画面で、直前に受け付けた者を1000名までワンタッチで確認できること。リストに表示されている選挙人を選択した際には、当該選挙人が画面上に表示されること。			
11			選挙人情報詳細	選挙人を検索後、不在者投票、期日前投票の受付日時や住民票上の異動日、異動事由を確認するための詳細画面へ展開できること。			
12			受付処理	バーコード読み取り機能	選挙人が特参した入場券に印刷されたバーコードを読み取ることで、容易に名簿照合できること。		
13				選挙人検索	入場券を忘れた選挙人についても、氏名、生年月日にて選挙人を検索し、名簿照合できること。		
14				同時に受付できる選挙数	同日に7票の選挙まで管理できること。		
15				誤登録者の投票取り消し機能	誤って受付してしまった選挙人について、速やかに処理が行え、無投票状態にできること。		
16	誤って表示した選挙人の画面クリア機能	受付画面に誤った選挙人を表示した場合、画面をクリアし、正しい選挙人の表示が行えるようにすること。					
17	白票返戻管理	不在者投票用紙を交付済みの選挙人が投票所に来場した場合の投票用紙の返還処理がシステム上でもできること。					
18	点字投票、代理投票、仮投票への対応	投票方法については、通常投票のほか、代理投票、点字投票および仮投票に対応できること。					
19	点字投票、代理投票、仮投票者の把握	代理投票、点字投票および仮投票者数を表示する画面を設けること。また、代理投票、点字投票および仮投票実施者を投票方法毎把握する画面を設けること。					
20	投票記録情報の表示	投票記録に転記するための情報を、画面上で確認できること。システム上で処理した内容は投票録画面上にも自動反映されること（投票方法など）。					
21	西暦、和暦検索	生年月日検索は西暦、和暦の双方に対応できること。					
22	清音検索	選挙人をカナ氏名で検索する際、清音検索に対応していること。					
23	漢字氏名検索	漢字氏名からも選挙人を検索できること。					
24	管理及び保守機能	セキュリティ	ログイン管理	システムログインに際し、パスワード管理もしくはID/パスワード管理を選択できること。			
25			ID毎の利用機能制御	ID/パスワード管理実施時は、ID（ユーザ）ごとに、利用できる機能を制限できること。			
26			障害時の復旧機能	選挙人を受け付ける度にログを記録し、ハード障害時にはログを利用して速やかな障害対応できること。			
27			受付情報の記録	投票受付ログは指定したデバイスに2面所記録できること。			
28	その他	その他機能	メモ情報連携	名簿管理システム、期日前投票管理システムにて管理しているメモ情報を取り込み表示できること。記録したメモを受付画面に表示するか否かをメモ単位で制御できること。			
29	拡張性	複数台運用	同時運用台数	同時に6台までの複数台運用ができること。			
30			端末故障時の継続稼働	親機と子の関係がなく、いずれかの端末に障害が起きても、他方の端末で受付を続けることができること（故障していない端末がある場合は当該端末で受付を継続できること）。			

機能要件一覧	システム名称
	閲覧システム

※「区分」の欄に各機能の実現可否を記号で記入すること。
 パッケージに標準装備されている機能は「○」、軽微なカスタマイズで実現できる機能(無償)は「◇」、大規模なカスタマイズが必要な機能(有償)は「△」、どのような手段を用いても実現ができない機能については、「×」を区分の欄に明記すること。

凡例 【区分】 ○：標準機能で実現可 ◇：軽微なカスタマイズ(無償)で実現可 △：大規模なカスタマイズ(有償)が必要 ×：対応不可

項番	大分類	中分類	機能名称	機能要件	区分	備考
1	閲覧	閲覧	電子抄本の閲覧	ブラウザを利用して、(複数台の)端末で抄本イメージが表示可能な機能を有すること		
2			抄本イメージについては、システムでレイアウトが自由に設定・変更が可能なこと			
3			使用する為には、使用権限が許可されたアカウントでログインするなどのセキュリティが図られていること			
4			閲覧申請をシステムに登録し、その時点で閲覧範囲が設定でき、閲覧する者はその範囲内では閲覧できない様、システムで範囲設定が施されており、閲覧者がその範囲内にいることが判ること			
5			閲覧内容は全てログに記録されるシステムであること			
6			閲覧内容が告示文として出力されること			
7			閲覧者(外部委託者)がデータを持ち出せない様、閲覧者本人がパソコン本体、キーボードを使用しない仕組みが施されていること			
8			選挙人の登録確認が可能な画面が用意されていること			
9			閲覧者が調査、研究目的の場合、特定の抽出条件によって、名簿登録者の対象者が抽出され、画面表示されること			
10			D V、1 1 条、転出者、抹消者 などの表示の有無が制御可能なこと			
11			縦覧名簿の閲覧が可能なこと			
12			抽出対象者をExcelに出力することが可能なこと			

機能要件一覧	システム名称
	開票集計システム

※「区分」の欄に各機能の実現可否を記号で記入すること。
 パッケージに標準装備されている機能は「○」、軽微なカスタマイズで実現できる機能(無償)は「△」、大規模なカスタマイズが必要な機能(有償)は「△」、どのような手段を用いても実現ができない機能については、「×」を区分の欄に明記すること。

凡例 【区分】 ○：標準機能で実現可 ○：軽微なカスタマイズ(無償)で実現可 △：大規模なカスタマイズ(有償)が必要 ×：対応不可

項番	大分類	中分類	機能名称	機能要件	区分	備考
1	開票	候補者	立候補者管理	立候補者を登録、修正、削除が可能であること。		
2			比例党派管理	比例代表党派の登録、修正、削除が可能であること。		
3			バーコード読み取り	付票のバーコードを読み取り自動集計すること。		
4			開票状況	現在入力されている票数及び残票数の検索ができること。		
6			投分抽出	候補者の投分パターンを自動抽出すること。		
5			国民審査	国民審査の集計が可能であること。		

機能要件一覧	システム名称
	在外選挙人名簿システム

※「区分」の欄に各機能の実現可否を記号で記入すること。
 パッケージに標準装備されている機能は「○」、軽微なカスタマイズで実現できる機能(無償)は「△」、大規模なカスタマイズが必要な機能(有償)は「△」、どのような手段を用いても実現ができない機能については、「×」を区分の欄に明記すること。

凡例 【区分】 ○：標準機能で実現可 △：軽微なカスタマイズ(無償)で実現可 △：大規模なカスタマイズ(有償)が必要 ×：対応不可

項番	大分類	中分類	機能名称	機能要件	区分	備考
1	在外選挙人名簿	在外選挙人管理	在外選挙人管理	在外登録申請者を登録、検索、修正、削除等が可能であること。		
2			在外選挙人証番号管理	独自の在外選挙人証番号の登録・管理が可能であること。		
3			在外選挙人証再交付	再交付について、名簿登録履歴管理・再登録・旧登録抹消管理等が可能であること。		
4			在外選挙人名簿登録申請書のイメージ管理	「在外選挙人名簿登録申請書」をイメージ化し、住所や署名欄を在外選挙人証やタックシールに印字することが可能であること。		
5			在外選挙人名簿の管理	在外選挙人名簿の管理においては、永久選挙人名簿に影響を与えない設計になっていること。		
6			照会・通知文印刷機能	照会先自治体、在外公館、在外選挙人向けの各種帳票の印刷機能を有していること。		
7			大使・領事館設定	「地域」「国」「領事官名」等の更新が可能であること。		
8			個人状況照会	登録作業の進捗状況の件数管理が可能であること。		
9			投票受付	投票（国外郵便投票、領事官投票、国内不在者投票、期日前投票、当日投票）の管理機能を有すること。		
10				投票情報の修正、返票管理機能を有すること。		
11				国民投票に対応していること。		
12			データ保存・復元	データのバックアップ、リストアが可能であること。		
13			システム間連携	「期日前・不在者投票管理システム」への選挙人データの転送が可能であること。		
14			システム設定	複数選挙区に対応していること。		
15			抹消者のDB削除	在外選挙人を個別に削除すること、抹消後5か年を経過した者の一括削除が可能であること。		
16			利用者認証	複数のパスワードが設定でき、個々に使用制限が設けられること。		

機能要件一覧	システム名称	※「区分」の欄に各機能の実現可否を記号で記入すること。 パッケージに標準装備されている機能は「○」、軽微なカスタマイズで実現できる機能(無償)は「△」、大規模なカスタマイズが必要な機能(有償)は「△」、どのような手段を用いても実現できない機能については、「×」を区分の欄に明記すること。
	速報システム	

凡例 【区分】 ○：標準機能で実現可 ○：軽微なカスタマイズ(無償)で実現可 △：大規模なカスタマイズ(有償)が必要 ×：対応不可

項番	大分類	中分類	機能名称	機能要件	区分	備考
1	速報	投票日当日の投票者数の管理	環境及び報告端末	報告端末はキャリア、メーカーを問わず携帯電話、スマートフォン、PCから行えること		
2				パスワードによるログイン制限ができること		
3				報告を受信するサーバ回線は、特殊な回線をもちいることなく(インターネット回線等を使用)運用可能であること		
4				当日投票システムとの連携ができること		
5			選挙登録	同一執行日、複数選挙の登録ができること		
6				国政選挙時は、在外投票者数の管理ができること		
7			選挙区登録	投票区番号、投票所名、住所、電話番号、担当者、選挙区、繰り上げ投票時刻の登録ができること		
8				CSVで一括登録ができること		
9				登録した投票区の一覧がExcelで出力できること		
10			ユーザー登録	投票区ごとに報告端末からログインするユーザーIDおよびパスワードの登録ができること		
11				CSVで一括登録ができること		
12			機体登録	携帯電話(フィーチャーフォン)の機体番号が登録できること		
13			基本設定	都道府県名、市区町村名が登録できること		
14				報告時間を任意に登録できること		
15				報告時間ごとに受付可能時刻を登録できること		
16				報告時間毎に、投票者数、有権者数、点字投票者数、代理投票者数の入力可否・参照可否が登録できること		
17				報告時間毎に、報告対象となる選挙を登録できること		
18				報告時間毎に、報告端末に表示するメッセージを登録できること		
19				受付可能時刻以外の報告に対し、エラー表示が可能なこと		
20				最終報告時に、残票数の報告ができること		
21				最終報告時に、不在者投票者数の報告ができること		
22				同一執行日複数選挙がある場合、報告選挙順を登録できること		
23			監視	報告時間毎に投票区毎かつ男女計の当日有権者数、投票者数、投票率および報告時間が一覧表として画面に表示できること		
24				未報告の投票区および投票区数が見えてわかる様に工夫されていること		
25				投票者数は、期日前・不在者投票者数を含むか含まないか設定ができること		
26				報告時間毎に、投票者数、有権者数、点字投票者数、代理投票者数の入力可否・参照可否が登録できること		
27				監視画面から、個別修正画面への移行ができること		
28				監視画面から、帳票出力画面へ移行ができること		
29			投票状況編集	投票区および報告時刻ごとに報告集の修正ができること		
30			事前情報	選挙毎および投票区毎に名簿登録者数、当日有権者数、投票用紙交付枚数の登録ができること		
31				選挙毎および投票区毎に不在者投票者数の登録ができること。また点字および代理投票者数も内数として登録できること		

32			選挙毎および投票区毎に期日前投票者数の登録ができること。また点字および代理投票者数も内数として登録できること		
33			(1)～(3)の登録は画面から直接のほか、Excelで作成された表から貼り付けができること		
34		速報出力	選挙種類、報告回数、書式を組み合わせ、以下「帳票」に記載した帳票をExcel形式で出力できること		
35			html形式のファイルを出力可能なこと		
36			在外投票者数の出力有無を設定できること		
37			期日前および不在者投票者数の出力有無を設定できること		
38			過去の同一選挙情報を出力できること		
39			投票者数を端数切捨てして出力できること		
40			ユーザー側で簡単に出力帳票の項目編集ができること		
41		システム操作	データベースのバックアップおよび復元機能があること		
42			投票者数の初期化ができること		
43			期日前投票システムから有権者数等の情報を取り込めること		
44			過去の同一選挙情報を取り込めること		
44			過去の同一選挙情報を取り込めること		